

# 10款 4項 1目 幼稚園費

## 私立幼稚園支援事業

(保育幼稚園課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	6,131,000 円		決算額	4,988,590 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,142,410 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,445,950 円	地 方 債	
	増減額			542,640 円	そ の 他	
	増減率	12.21%	一 般 財 源	4,988,590 円		

### <目的>

市内の私立幼稚園の教育条件の維持及び向上や、心身障害児に対する特別支援教育の充実と振興を図るとともに、幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とするものです。

### <内容>

市内の私立幼稚園に対して、教育条件の維持及び向上を図ることを目的とした助成金を交付するとともに、市内の私立幼稚園及び公立幼稚園で構成される団体に対して、幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金を支給します。

また、特別支援教育の充実と振興を図るため、心身障害児に対する補助教員を配置している幼稚園に対して補助金を支給します。

### <実績・成果等>

#### 1 私立幼稚園振興助成金

目的：私立幼稚園等の教育条件の維持及び向上を図るための助成金

対象施設 9 園

対象園児数 計 1,233 名

助成対象経費（抜粋） 園医・薬剤師手当、教職員研修費、遊具等の購入・修繕の一部

#### 2 幼稚園児育成事業費補助金

目的：幼稚園児の健全な心身の発達に資することを目的とした補助金

市内幼稚園 11 か所において、観劇会を実施

#### 3 私立幼稚園特別支援教育費補助金

目的：心身に障害等のある幼児の私立幼稚園等への就園を促進するため、心身障害児に対する

補助教員を配置している幼稚園への補助金

対象施設 5 園

対象園児数 計 9 名

# 10款 4項 1目 幼稚園費

## 幼稚園就園奨励事業

(保育幼稚園課)

決算事項別明細書 257 ページ

予算現額	162,530,000 円		決算額	134,950,300 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	43,490,000 円	
不 用 額	27,579,700 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			140,176,200 円	地 方 債	
	増減額			△5,225,900 円	そ の 他	
	増減率	△3.73%	一 般 財 源	91,460,300 円		

### <目的>

私立幼稚園等に就園する園児の保護者の経済的負担の軽減及び公立・市立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図ります。

### <内容>

私立幼稚園などに就園する園児の保護者の経済的負担を軽減するため、就園奨励費補助金を支給します。

### <実績・成果等>

幼稚園就園奨励費補助金 134,950,300 円  
補助対象者数 1,173 人 (該当幼稚園等 40 園)

#### 所得区分等の内訳

区 分	人 数	金 額
生活保護世帯	0 人	円 0
市区町村民税非課税世帯	31	7,949,700
市区町村民税所得割非課税世帯	5	1,354,400
市区町村民税所得割課税額77,100円以下の世帯	82	18,755,600
市区町村民税所得割課税額211,200円以下の世帯	706	80,371,500
市区町村民税所得割課税額 211,201 円以上の世帯 及び市長の認める幼稚園類似施設の園児の保護者	349	26,519,100
合 計	1,173	134,950,300

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 社会教育振興事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	4,922,000 円		決算額	4,486,715 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不用額	435,285 円			県支出金	
前年度 比較	決算額	5,193,793 円		地方債	
	増減額	△707,078 円		その他	
	増減率	△13.61%	一般財源	4,486,715 円	

### <目的>

社会の要請や地域住民のニーズに対して、学習の機会や場を提供し、社会教育の充実を図ります。

### <内容>

社会教育の振興を図るため、学習機会の提供とともに、社会教育事業を主体的に行う関係団体を支援し、社会教育活動の促進を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 ジュニアリーダー養成事業の開催

狭山市子ども会育成会連絡協議会との共催により、レクリエーションの指導技術、彩の国21世紀郷土かるた審判員等の講習会を開催しました。

事業名	期間	回数	会場
狭山市ジュニアリーダー初級講習会	平成30年5月27日～ 平成31年3月17日	9回	農村環境改善センター、 入間川小学校ほか

#### 2 平和推進事業の開催

市民に広く平和について考える機会を提供し、平和に関する意識の高揚を図るため、博物館を会場に平和祈念講演会を開催しました。

内容	期日	参加人数
平和祈念講演会「その日笹井は戦場だった」 ～国民学校2年生が見た笹井の空襲～	平成30年12月2日	63人

#### 3 社会教育関係団体の支援

社会教育関係団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

狭山市PTA連合会	305,000 円
狭山市子ども会育成会連絡協議会	278,000 円
狭山市地域文庫連絡会	65,000 円
狭山市立幼稚園PTA連合会	53,000 円
狭山市ボーイスカウト・ガールスカウト連合会	178,000 円

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 成人式開催事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	573,000 円		決算額	455,456 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	117,544 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比 較	決算額			525,265 円	地方債	
	増減額			△69,809 円	その他	
	増減率	△13.29%	一般財源	455,456 円		

### <目的>

成人に達した青年男女の新しい門出を祝福するとともに、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

### <内容>

成人式を挙げて、青年男女の新しい門出を祝福し、成人としての自覚と市民としての意識の高揚を図ります。

### <実績・成果等>

第65回狭山市成人式を平成31年1月13日(日)に狭山市市民会館で開催しました。

性別	該当者数	出席者数	出席率
男	766 人	558 人	72.85 %
女	712	505	70.93
合計	1,478	1,063	71.92

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 生涯学習推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 259 ページ

予算現額	3,158,000 円		決算額	2,909,240 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不用額	248,760 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			3,008,320 円	地方債	
	増減額			△99,080 円	その他	60,050 円
	増減率	△3.29%	一般財源	2,849,190 円		

### <目的>

誰もが、生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習の充実を図ります。

### <内容>

生涯学習に取り組む機会や学習の成果を発表する場の充実、生涯学習に取り組む市民団体の活動の促進に向けて各種講座等を開催します。

### <実績・成果等>

- 生涯学習ボランティア制度の充実  
さまざまな経験や知識・技能を持ち社会参加に意欲のある人材を募集して、学習指導者として登録し、市民の学習の場での活用を通じて市民の学習活動の促進を図りました。本年度の登録者は135人、登録件数（指導分野）は175件となりました。
- 生涯学習まちづくり出前講座の実施  
職員が地域に向き、市の業務内容や取組みをわかりやすく説明する「生涯学習まちづくり出前講座」を実施しました。出前講座のメニュー講座とリクエスト講座を合わせて、505件、35,427人が受講しました。
- 生涯学習の場としての学校施設の開放  
市民の文化活動やスポーツ・レクリエーション活動の促進を図るため、入間川小学校の施設の一部（特別教室及び講堂）を開放し、延べ612団体、16,197人の利用がありました。
- 現代的課題等の講座の実施  
地域活動につながる人材育成を視点において、現代的課題や地域課題をテーマに公民館や関係団体等と連携して講座を実施しました。環境にやさしいライフスタイル講座は6回開催し延べ174人が、駅前発！楽しく学ぶ自分磨き講座は5回開催し、延べ137人の参加がありました。
- 子ども大学の開校  
小学校4年生から6年生を対象として、子供の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する「子ども大学さやま・いるま」及び「子ども大学さやま」を開校しました。「子ども大学さやま・いるま」は、東京家政大学及び入間市教育委員会との共催により、7月21日から11月17日までの間の4日間開催し、狭山市から24人、入間市から35人の合計59人が受講しました。また、「子ども大学さやま」は、武蔵野学院大学、武蔵野短期大学及び飯能信用金庫との共催により、10月6日から12月15日までの間の5日間開催し、20人が受講しました。
- 市民文化祭の支援  
各公民館、図書館、市民会館等14会場の実行委員会に補助金を交付し、開催を支援しました。620団体が活動成果を発表し、29,411人が来場しました。  
市民文化祭（14会場） 824,000円

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 生涯学習活動支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	3,566,000 円		決算額	3,528,646 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	37,354 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			3,542,099 円	地 方 債	
	増減額			△13,453 円	そ の 他	
	増減率	△0.38%	一 般 財 源	3,528,646 円		

### <目的>

誰もが生涯をとおして豊かに学び、学びをとおして、自分を磨き高めるとともに、学びの成果を社会のなかで活かすことができるよう、生涯学習活動の支援体制を充実します。

### <内容>

生涯学習に関する情報提供の充実に向けてポータルサイトの更なる活用を図るとともに、生涯学習情報コーナーにおける情報提供、相談機能の充実を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 生涯学習情報コーナーの運営

生涯学習に関する情報提供や市民からの問合せや相談に総合的に応じる窓口として、生涯学習情報コーナーを、さやま生涯学習をすすめる市民の会に委託して運営を行いました。本年度は、359 日間開所し、16,236 人の利用がありました。また、生涯学習情報コーナーの事業として、生涯学習がつなぐネットワークづくりを目的に、平成 31 年 3 月 23 日に市民交流センターにおいて、さやま生涯学習サークル「ミュージック&ダンスフェスティバル 2019」を開催しました。

#### 2 地域ポータルサイトにおける生涯学習関連情報の提供

地域ポータルサイト「さやマルシェ」内の『さやまなびいネット』にて、市内公民館や小・中学校開放体育館等で活動しているサークルの情報などを提供し、月平均 17,329 件のアクセスがありました。

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 学校支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	1,724,000 円		決算額	1,715,964 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	8,036 円			県 支 出 金	624,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			1,714,012 円	地 方 債	
	増減額			1,952 円	そ の 他	
	増減率	0.11%	一 般 財 源	1,091,964 円		

### <目的>

学校・地域が一体となって学校支援に取り組む体制づくりを進めることで、市民の学習成果を活かす機会を拡充し、学校教育の充実と地域の教育力の向上を図ることを目的とします。

### <内容>

学校支援ボランティアセンターによる学校支援の充実を図るとともに、学校応援団の組織の拡充を通じて、地域による学校支援を促進します。

### <実績・成果等>

#### 1 学校応援団の運営

小中学校 23 校に学校応援団を設置し、学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全見守り等の支援を行い、全校合わせた活動日数は延べ 8,111 日で、延べ 74,660 人が学校支援に携わりました。

#### 2 学校支援ボランティアセンターの運営

地域の教育力を活かして、小中学校の学習支援にあたる学校支援ボランティアセンターについて、その運営をさやま市民大学同窓会に委託し、小学校 15 校、中学校 8 校に 309 人のボランティアを派遣しました。

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 家庭教育支援事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	727,000 円		決算額	654,920 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	72,080 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			611,300 円	地方債	
	増減額			43,620 円	その他	
	増減率	7.14%	一般財源	654,920 円		

### <目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、家庭教育の自主性を尊重しつつ、学習機会の提供などを通して、家庭教育を支援します。

### <内容>

PTA と連携して、家庭教育研修会や家庭教育学級の内容の充実を図り、家庭の教育力の向上に向けた支援を行います。

### <実績・成果等>

#### 1 家庭教育合同研修会の実施

家庭教育合同研修会を狭山市 PTA 連合会との共催により、4 会場で実施しました。

期 日	会 場	内 容
平成 30 年 10 月 27 日	笹井小学校体育館	講演会 「家庭で伝えるいのちのはなし」
平成 30 年 11 月 17 日	入間川小学校講堂	講演会 「子どもたちの命を守るために～『ASUKA モデル』と小学校からの救命教育の推進～」
平成 30 年 11 月 17 日	狭山元気プラザ体育館	講演会 「夢」
平成 30 年 12 月 1 日	山王中学校体育館	講演会 「子どもの将来の職業について」

#### 2 家庭教育学級の実施

家庭教育学級の開設と運営を幼稚園保護者会と小中学校 PTA に委託し、実施しました。

幼稚園幼児期家庭教育学級	6 学級	90,000 円
小学校 PTA 家庭教育学級	15 学級	225,000 円
中学校 PTA 家庭教育学級	8 学級	120,000 円

#### 3 すこやか子育て講座の実施

平成 31 年 4 月に入学する児童の保護者を対象に、就学時健康診断や入学説明会の機会を捉え、市立小学校全校（15 校）において家庭教育や子育てに関する講座を実施しました。

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 地域子ども教室推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	3,092,000 円		決算額	2,467,850 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	624,150 円			県 支 出 金	1,354,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			2,705,827 円	地 方 債	
	増減額			△237,977 円	そ の 他	
	増減率	△8.79%	一 般 財 源	1,113,850 円		

### <目的>

核家族化の進行や社会構造、価値観などの変化に伴い、家庭や地域の教育力の低下が指摘されている現状を踏まえ、地域で子供を育む機会を充実させ、家庭や地域の教育力の向上に取り組むとともに、子供の健全育成を図ります。

### <内容>

地域で子供を育む機会として、様々な体験や交流の場となる地域子ども教室の活動を推進します。

### <実績・成果等>

#### 1 地域子ども教室の実施

放課後教室 9 教室、週末教室 3 教室を地域子ども教室連絡会 Tie に委託し、実施しました。

放課後教室として 104 回開催し、延べ 6,640 人が、週末教室として 23 回開催し、延べ 1,035 人が参加しました。

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 青少年健全育成事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 261 ページ

予算現額	2,984,000 円		決算額	2,947,167 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	36,833 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,937,548 円	地 方 債	
	増減額			9,619 円	そ の 他	
	増減率		0.33%	一 般 財 源	2,947,167 円	

### <目的>

家庭、地域、学校が連携して青少年の健全育成活動の充実を図り、以って青少年の健全な成長を促進するとともに地域の教育力の向上を図ります。

### <内容>

青少年の健全育成活動の充実のため、青少年育成団体の活動を支援します。

### <実績・成果等>

#### 1 青少年育成団体の支援

青少年育成団体に補助金を交付し、各団体の活動を支援しました。

青少年育成推進委員会 57,000 円

青少年を育てる狭山市民会議 2,810,000 円

# 10款 5項 1目 社会教育総務費

## 人権施策推進事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	1,086,000 円		決算額	934,593 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	151,407 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			931,848 円	地方債	
	増減額			2,745 円	その他	
	増減率	0.29%	一般財源	934,593 円		

### <目的>

同和問題をはじめとする様々な人権問題の正しい理解と認識を深め、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

### <内容>

同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人などに関わる様々な人権問題に対する意識の高揚を図るため、様々な機会を通じて啓発活動を推進します。また、学校教育、社会教育、企業、行政などのあらゆる場において、人権教育を推進します。

### <実績・成果等>

- 小中学校 PTA 人権教育学級の開催  
市内 23 校の小中学校 PTA に委託し、人権教育学級を開催しました。  
小学校 PTA 人権教育学級 15 学級  
中学校 PTA 人権教育学級 8 学級
- 人権教育研修会等の開催  
学校教育関係者や社会教育関係者などで構成される狭山市人権教育推進協議会との共催により、人権教育研修会、企業人権教育研修会、人権教育実践研究会等を開催しました。

事業名 (会場)	期 日	内 容	参加者数
人権教育研修会 (市民会館)	平成 30 年 10 月 17 日	講演会「暮らしの中の人権感覚～同和問題の解決をめざして～」	145 人
	平成 30 年 11 月 22 日	講演会「ハンセン病を知っていますか？」	163 人
	平成 30 年 12 月 18 日	講演会「子どもの人権」	169 人
企業人権教育研修会 (稲荷山環境センター)	平成 31 年 2 月 13 日	講演会「企業における人権～職場の人権啓発活動～」	12 人
人権教育実践研究会 (市民会館)	平成 31 年 2 月 7 日	実践発表「小学校における人権教育」 水富小学校 実践発表「中学校における人権教育」 狭山台中学校 実践発表「公民館における人権教育」 堀兼公民館	158 人

# 10款 5項 2目 文化財保護費

## 文化財保護事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	2,831,000 円		決算額	2,317,306 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	513,694 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			2,450,722 円	地 方 債	
	増減額			△133,416 円	そ の 他	
	増減率	△5.44%	一 般 財 源	2,317,306 円		

### <目的>

郷土の歴史や文化を理解し、文化財愛護意識の高揚を図ります。

### <内容>

貴重な文化財を後世に残すため、指定文化財の所有者や民俗芸能の保持者等を支援するとともに、民俗芸能の保存・継承に取り組む民俗芸能等の団体の活動を支援します。

### <実績・成果等>

1 指定文化財等の管理及び管理補助を次のとおり実施しました。

事業名	実施内容
県指定史跡七曲井除草管理業務	除草2回、伐採1回
城山砦跡内除草・低木剪定等処分業務	2回
史跡管理業務（富士塚除草等）	1回
影隠地蔵除草管理業務	清掃12回、除草2回
今宿遺跡除草管理業務	清掃、除草3回
下水野の地蔵尊除草管理業務	清掃、除草12回
指定文化財説明板移動・再設置工事	1基
廣瀬神社の大ケヤキ樹勢回復事業補助	土壌改良及び施肥

2 民俗芸能等の団体の活動を次のとおり支援しました。

事業名	補助金額	実施報告内容
入曽の獅子舞後継者育成補助	60,000 円	獅子舞練習・上演
梅宮神社甘酒祭後継者育成補助	60,000	夜間に謡を練習・上演
入間川鹿子舞後継者育成補助	60,000	獅子舞練習・上演
狭山市民俗芸能祭囃子後継者育成補助	142,000	囃子練習・上演
上赤坂の獅子舞後継者育成補助	60,000	子供習得会等開催
柏原祇園ばやし後継者育成補助	30,000	子供会員を対象に練習

3 普及啓発事業を次のとおり実施しました。

事業名	開催日	参加人数	実施場所	実施内容
学校講座	6月5日	65人	広瀬小学校	縄文時代のくらし（講義）
学校講座	6月14日	73	広瀬小学校	火おこしに挑戦
学校講座	6月26日	73	今宿遺跡	講義、遺跡の見学
学校講座	7月10日	36	御狩場小学校	火おこしに挑戦
出前講座	8月8日	9	新狭山公民館	縄文土ッキーを作ろう、縄文土器の文様を作ろう、火おこしに挑戦
発掘体験	8月23日	11	鳥ノ上遺跡	講義、発掘現場の見学、体験
発掘体験	8月24日	12	鳥ノ上遺跡	講義、発掘現場の見学、体験
発掘体験	9月28日	5	鳥ノ上遺跡	講義、発掘現場の見学、体験
ふじみ寿大学館 外研修	10月23日	45	鎌倉市	極楽寺および高德院の見学
文化財防火デー 防火訓練	1月26日	65	柏原白鬚神社	第36回狭山市文化財防火デー防火訓練
文化財講習会	2月2日	3	市立博物館	掛軸・茶碗の取り扱い
文化財講習会	2月9日	3	市立博物館	和本・石碑の取り扱い
文化財講習会	3月9日	18	市立博物館	平成30年度埋蔵文化財発掘調査概報、土器の整理作業
文化財展	3月9～17日	—	市立博物館	文化財関係資料取扱い方法、平成30年度埋蔵文化財発掘調査概報
発掘体験	3月28日	13	鳥ノ上遺跡	講義、発掘現場の見学、体験
発掘体験	3月29日	11	鳥ノ上遺跡	講義、発掘現場の見学、体験

# 10款 5項 2目 文化財保護費

## 文化財発掘調査事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 263 ページ

予算現額	38,532,000 円		決算額	34,214,799 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金	1,214,000 円	
不 用 額	4,317,201 円			県 支 出 金	607,000 円	
前 年 度 比 較	決算額			9,849,041 円	地 方 債	
	増減額			24,365,758 円	そ の 他	25,606,827 円
	増減率	247.39%	一 般 財 源	6,786,972 円		

### <目的>

開発等に際して、埋蔵文化財の確認調査を実施するとともに、発掘調査した埋蔵文化財を記録保存し、あわせて、公開することにより、埋蔵文化財を後世に伝えていきます。

### <内容>

埋蔵文化財包蔵地における開発等に際して、事前に遺構確認調査を実施し、遺構が確認され、現状が保存できない場合には発掘調査を行い、その結果を記録保存するとともに、発掘した埋蔵文化財の展示等を通じ、市民への公開を進めます。

### <実績・成果等>

- 各種開発行為に先立つ埋蔵文化財の調査  
埋蔵文化財包蔵地内における確認調査等を 49 件（総面積 90,261.43 平方メートル）実施しました。  
また、埋蔵文化財発掘調査を 2 件実施しました。

埋蔵文化財発掘調査名	調 査 結 果
狭山工業団地拡張地区基盤整備事業発掘調査（鳥ノ上・小山ノ上・上双木遺跡）	奈良平安時代竪穴住居跡 70 軒、掘立柱建物跡 11 棟、土壇 70 基、溝跡 8 条、ピット 116 基、性格不明遺構 3 件検出
城ノ越遺跡第 20 次	奈良平安時代竪穴住居跡 1 軒、土壇 1 基、ピット 1 基検出

- 出土品の整理  
文化財センター内で出土品の復元、実測等の整理作業を行いました。
- 収蔵品の整理  
文化財センター内にある資料の整理を行いました。

整 理 対 象	作 業 概 要	数 量
図面	ラベリング一覧表整備	2,190 枚
寄贈報告書	受付処理一覧表整備	604 冊
図書資料（電子化）	スキャニング一覧表整備	87 冊

# 10款 5項 3目 富士見集会所費

## 富士見集会所管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 265 ページ

予算現額	8,819,000 円		決算額	8,036,323 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	782,677 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,886,640 円	地 方 債	
	増減額			2,149,683 円	そ の 他	1,523,040 円
	増減率	36.52%	一 般 財 源	6,513,283 円		

### <目的>

施設の管理運営の充実を通して、住民の教養の向上、生活文化の振興等を図ります。

### <内容>

集会所を住民の集会その他の公共的利用に供する施設として、様々なニーズに応えられるよう施設の管理運営を行います。

### <実績・成果等>

利用状況 開所日数 321 日

区 分	件 数	人 数
同 和 団 体	23 件	704 人
官 公 署	24	281
公 共 団 体	146	1,863
社会教育関係団体 (免除団体)	32	122
社会教育関係団体 (有料団体)	2,164	23,114
合 計	2,389	26,084

# 10款 5項 3目 富士見集会所費

## 富士見集会所講座等運営事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 267 ページ

予算現額	1,194,000 円		決算額	786,382 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	407,618 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			537,503 円	地 方 債	
	増減額			248,879 円	そ の 他	
	増減率	46.30%	一 般 財 源	786,382 円		

### <目的>

主催事業等を通して集会所運営の基本理念であるすべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、問題解決に資することができるよう人権教育の充実を図ります。

### <内容>

人権学習の今日的課題である「女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・外国人・その他の人権」についての人権教育・啓発を行います。併せて、事業参加者・利用者相互の交流にも努めます。

### <実績・成果等>

#### 1 主催事業の実施

人権に関する講座を中心に主催事業として、次のとおり実施しました。

種 別	内 容	講 座 数	回 数	延べ人数
人権啓発	小・中学生対象 人権学習	講座 2	回 4	人 558
	成人一般人権セミナー及び 教職員人権教育研修会	2	9	414
	利用団体研修会	1	1	11
青 少 年	小・中学生対象の ふれあい教室等	3	15	267
成人一般	地域ふれあい講座	2	7	93
高 齢 者	ふじみ寿大学	1	8	285
そ の 他	ふれあいコンサート	1	1	65
合 計		12	45	1,693

#### 2 市民文化祭

市民文化祭の富士見集会所会場として、11月1日から11月4日までの計4日間、展示や催し物等を実施し、22団体が参加し、延べ833人が来場しました。

# 10款 5項 4目 公民館費

## 公民館管理事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 267ページ

予算現額	133,651,000円		決算額	130,971,044円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	2,679,956円			県支出金	
前年度 比 較	決算額	131,581,798円		地方債	
	増減額	△610,754円		その他	19,305,345円
	増減率	△0.46%	一般財源	111,665,699円	

### <目的>

市民の学習活動の場としての利用を通して、市民の生涯学習活動の促進を図ります。

### <内容>

生涯学習の拠点として、生涯学習に取り組む場や生涯学習の成果を発表する場としての利用に供します。

### <実績・成果等>

利用状況

区 分	官 公 署		公共的団体 (内免除登録団体)		有料団体		合 計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
中央公民館	789	20,818	1,029 (266)	17,830 (2,410)	10,092	122,729	11,910	161,377
富士見公民館	24	221	570 (134)	9,582 (1,497)	5,862	59,278	6,456	69,081
入曽公民館	65	881	646 (27)	9,415 (615)	4,130	44,962	4,841	55,258
水野公民館	87	1,403	338 (0)	6,750 (0)	4,040	46,241	4,465	54,394
堀兼公民館	35	260	248 (12)	1,546 (210)	1,835	16,857	2,118	18,663
狭山台公民館	29	1,204	830 (117)	14,062 (808)	4,698	47,330	5,557	62,596
新狭山公民館	95	2,172	595 (4)	9,267 (32)	3,879	43,518	4,569	54,957
奥富公民館	2	60	570 (28)	4,879 (130)	1,490	16,605	2,062	21,544
柏原公民館	95	1,728	384 (35)	5,561 (338)	2,041	20,672	2,520	27,961
広瀬公民館	23	1,537	259 (15)	2,708 (183)	4,426	42,101	4,708	46,346
水富公民館	7	13	437 (7)	5,961 (120)	1,679	18,189	2,123	24,163
合 計	1,251	30,297	5,906 (645)	87,561 (6,343)	44,172	478,482	51,329	596,340

# 10款 5項 4目 公民館費

## 公民館講座等運営事業

(中央公民館(公連分))

決算事項別明細書 269 ページ

予算現額	5,924,000 円		決算額	4,996,512 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	927,488 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			4,646,088 円	地 方 債	
	増減額			350,424 円	そ の 他	
	増減率	7.54%	一 般 財 源	4,996,512 円		

### <目的>

市民のニーズや社会的な要請を踏まえて、各種の講座等を開催し、これらを通じて市民学習活動の促進と、社会教育の拡充を図ります。

### <内容>

生涯学習及び社会教育の拠点として、現代的課題や地域課題などをテーマとした講座等を開催します。

### <実績・成果等>

講座等の開催状況

公民館名	事業件数	延べ開催回数	延べ参加人数
中 央 公 民 館	34 件	399 回	17,948 人
富 士 見 公 民 館	37	218	13,522
入 曾 公 民 館	30	89	13,073
水 野 公 民 館	47	240	17,559
堀 兼 公 民 館	49	88	7,374
狭 山 台 公 民 館	38	579	16,411
新 狭 山 公 民 館	40	183	10,819
奥 富 公 民 館	40	161	20,424
柏 原 公 民 館	41	106	4,952
広 瀬 公 民 館	35	132	8,708
水 富 公 民 館	39	95	9,908
合 計	430	2,290	140,698

# 10款 5項 5目 図書館費

## 図書利用推進事業

(中央図書館)

決算事項別明細書 271 ページ

予算現額	127,225,000 円		決算額	125,135,431 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	2,089,569 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	121,154,397 円		地 方 債	
	増減額	3,981,034 円		そ の 他	31,446,160 円
	増減率	3.29%	一 般 財 源	93,689,271 円	

### <目的>

図書やその他必要な資料を収集・整理・保存し、広く市民の利用に供することにより、読書活動の推進や、市民の学習や調査活動を支援します。

### <内容>

図書、雑誌や新聞等の資料の選定・購入、図書館サービスを提供するのに必要となる臨時職員の雇用や図書館システムの借上げを行います。

### <実績・成果等>

#### 1 図書利用の推進

- |           |              |                   |          |
|-----------|--------------|-------------------|----------|
| (1) 図書購入費 | 27,174,309 円 | 図書購入冊数            | 14,230 冊 |
| うち 中央館    | 20,543,959 円 | うち 中央館            | 10,357 冊 |
| うち 狭山台館   | 6,630,350 円  | うち 狭山台館           | 3,873 冊  |
| 視聴覚資料購入費  | 1,269,039 円  | (DVD108 点、CD12 点) |          |

- (2) 登録者数 147,439 人

- (3) 利用実績

区 分	中央館	狭山台館	移動図書館	合 計	(内団体)
利用者数	205,049 人	60,527 人	5,007 人	270,583 人	(1,068) 団体
貸出数	647,482 点	211,951 点	16,499 点	875,932 点	(23,851) 点

- (4) 資料区分ごとの貸出数

区 分	一般書	児童書	雑 誌	ビデオ	DVD	C D	カセット	DAISY※
貸出数	499,019 冊	311,889 冊	40,464 冊	615 点	8,163 点	15,389 点	390 点	3 点

(※DAISY とは印刷物を読むのが困難な人々のために製作されたデジタル録音図書)

- (5) 図書館蔵書検索システムの更新

新しい図書分類への対応、蔵書管理や貸し出し業務等の効率化、検索スピードアップによる利用者サービスの向上のため、システム更新を実施し、平成 31 年 1 月 5 日からサービスを提供しました。

- (6) 児童奉仕

読み聞かせ、工作、体験学習等 80 回 (ボランティアグループとの連携実施を含む)  
 読み聞かせ講座等 4 回  
 子ども映画会 14 回  
 保健センターの育児学級での図書館案内、絵本紹介等 6 回

- (7) 学校連携  
小学生向けの広報紙「よむぞうタイムズ」72号、73号、74号、号外の発行  
中学生向けの広報紙「よむレンジャー」37号、38号、39号の発行  
出前事業（ブックトーク）の実施（小学校 22学級、対象668人、貸出1,486冊）  
（中学校 4学級、対象122人、貸出 105冊）  
出前事業（図書館利用教育）の実施（小学校 6学級、対象187人）  
図書の団体貸出 90回、2,522冊  
小中学生向けの図書館選定図書「よむぞうスクールパック」の貸出 1回  
子どものときに読みたい本「さやまの100冊パック」の小中学校への貸出 8回  
職場体験等学習受入 中学校 7校 26人  
図書館訪問等の受入 小学校 10校 727人

## 2 その他

- (1) 市民文芸「さやま」23号 400部刊行（応募者数 140人、応募作品数 532点）  
(2) 視聴覚教材・教具貸出 49点（うち16ミリフィルム31点）、視聴者 753人  
(3) その他の奉仕活動  
レファレンス 10,759件 資料コピー 12,359枚  
リクエスト 66,407件

# 10款 5項 6目 博物館費

## 博物館管理事業

(社会教育課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	75,858,000 円		決算額	73,828,400 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不用額	2,029,600 円			県支出金		
前年度 比較	決算額			74,202,766 円	地方債	
	増減額			△374,366 円	その他	
	増減率	△0.50%	一般財源	73,828,400 円		

### <目的>

施設の維持管理及び資料の保管を行います。また、当市の歴史・文化・自然等に対する興味、関心を得られるような企画展・講座を開催し、郷土狭山に関する学習活動の醸成を図ります。

### <内容>

常設展示では、展示テーマ「入間川と入間路」を中心に、狭山の自然・地質・考古・歴史・民俗などを通史的に展示するほか、博物館をより身近なものとするため、企画展とともに講座や体験学習を開催します。

企画展は、「狭山らしさ」を踏まえ、当市の歴史の一端に触れるもの、子どもたちの博物館への興味や関心を深めるもの及び独自性に富んだものを基軸として開催します。

### <実績・成果等>

指定管理者制度の導入により、平成27年4月1日より指定管理者が管理運営を行っています。利用状況と事業の実施状況は次のとおりです。

#### 1 入館の状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	26 <sup>日</sup>	24	26	27	27	28	27	26	23	24	25	27	310
入館者数	11,588 <sup>人</sup>	6,799	1,309	8,647	11,221	2,322	2,288	3,171	1,037	1,771	1,764	3,775	55,692

#### 2 企画展

事業名	開催期間	日数	入館者数
トリック3Dアート展	3月10日～5月13日	(本年度分) 38 <sup>日</sup>	(本年度分) 17,960 <sup>人</sup>
ぼくらの狭山を走れ！鉄道展	6月30日～9月2日	57	21,886
日本風景画の巨匠 吉田博展	9月29日～11月25日	51	5,567
冬期企画展わがまち狭山の平成展	12月19日～2月17日	49	3,435
岩合光昭写真展ネコライオン	3月9日～5月12日	(本年度分) 19	(本年度分) 3,537

### 3 企画展関連事業

事業名	開催日	参加者数
春のまいまい体験講座	3月10日～5月13日	(本年度分) 1,637人
七夕の妖精おりびい撮影会	4月1日・5月3日	—
お楽しみ抽選会	4月1日・5月3日	200
夏のまいまい体験講座	6月30日～9月2日	6,220
ミニ電車に乗ろう等	7月28日・29日	2,461
電車のダイヤグラムを作ろう	8月19日	55
鉄道kid'sパーク	6月30日～9月2日	—
秋のまいまい体験講座	9月29日～11月25日	331
吉田博展ギャラリートーク	9月29日・11月3日	57
冬のまいまい体験講座	12月19日～2月17日	407
平成展 おりびい一日館長	12月23日、1月14日	74
無形文化財の実演 笹井豊年足踊り	2月10日	90
春のまいまい体験講座	3月9日～5月12日	(本年度分) 306

### 4 講座・体験学習等

事業名	開催日	参加者数
甲冑着付け体験講座「若武者になろう」	5月4日・5日	35人
打掛着付け体験講座「お姫様になろう」	3月2日・3日	26
春の古文書読解講座(初級編)	4月7日～6月23日(全10回)	64
秋の古文書読解講座(初級編)	9月29日～12月1日(全10回)	55
古文書読解講座(中級編)	4月20日～3月15日(全12回)	62
茶道体験講座「お茶席」	5月20日・10月14日・3月10日	97
歴史文化講座	2月2日・9日・23日	153
あおやぎ祭まいまい体験講座出張工作	5月19日	127
第3回童句コンクール	7月1日～9月15日(募集期間)	326
第3回童句コンクール 表彰式	10月8日	87
さやはく生涯学習フォーラム・春季	4月14日・15日・22日	88
さやはく生涯学習フォーラム・秋季	10月28日・11月4日・18日	137
第1回さやまナビーズ常設展ガイドツアー	6月6日～24日(全11回)	184
第2回さやまナビーズ常設展ガイドツアー	11月27日～12月16日(全14回)	222
野外体験講座「さやま化石探検隊」	1月19日	26
第4回公募展「童句の世界美術展」	7月1日～10月21日(募集期間)	24

# 10款 6項 2目 学校保健費

## 公立学校保健事業

(学務課)

決算事項別明細書 273 ページ

予算現額	60,104,000 円		決算額	57,903,987 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,200,013 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			58,030,026 円	地 方 債	
	増減額			△126,039 円	そ の 他	4,506,392 円
	増減率	△0.22%	一 般 財 源	53,397,595 円		

### <目的>

健康診断等を通じて、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員の心身の健康を保持します。

### <内容>

学校保健安全法に基づき、幼稚園・小中学校の園児・児童・生徒・教職員を対象に健（検）診や学校環境衛生検査等を実施します。

また、園児・児童・生徒を対象として、学校管理下の災害に対し、災害共済給付(医療費、障害見舞金または死亡見舞金)を行うため、災害共済給付制度に加入します。

### <実績・成果等>

学校医等の協力により、園児・児童・生徒の健康診断と学校環境衛生検査を実施しました。

区分	校（園）数	内科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	歯科医	薬剤師
幼稚園	2 園	2 人	— 人	— 人	2 人	2 人
小学校	15 校	17	15	15	23	15
中学校	8 校	10	8	8	10	8

#### 1 健康診断

(1) 平成 31 年 4 月に小学校に入学する就学児童 1,129 人を対象に健康診断を実施しました。

受診児数 1,106 人（受診率 97.96%） 未受診児 23 人（主な理由は転居や転居予定に伴う  
他市受診、海外滞在中、私立小学校入学。居所不明児はなし）

(2) 園児・児童・生徒を対象に尿検査を実施しました。

尿検査 1 次検査 10,295 人 2 次検査 307 人 要精密検査（蛋白 31 人・糖 2 人・潜血 19 人）

(3) 児童・生徒の結核健康診断を実施しました。

受診者数 10,142 人 結核対策委員会要検討者なし 直接撮影者 14 人 要精密検査者数 0 人

(4) 小学校 1 年生、中学校 1 年生及び前年度未受診者を対象に、心電図検査を実施しました。

受診者数 2,151 人 要精密検査者数 56 人

(5) 教職員健康診断を実施しました。

集団健診受診者数 244 人（要精密検査者数 79 人）

個別健診受診者数 40 人（要精密検査者数 7 人）

結核健康診断受診者数 277 人 胃検診受診者数 53 人

#### 2 災害共済給付制度

園児・児童・生徒の学校管理下の災害に備えて、日本スポーツ振興センター災害共済給付制度へ  
加入しました。  
※保護者負担金の調定額及び収入済額 4,140,650 円

区 分	加入者数	共済掛金
一般児童生徒	8,901 人	8,411,445 円
要保護児童生徒	25	1,375
準要保護児童生徒	1,246	1,077,190
園 児	190	56,050
前年度途中加入者	26	24,570
合 計	10,388	9,570,630

# 10款 6項 3目 スポーツ振興費

## 市民スポーツ促進事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	9,058,000 円		決算額	7,542,491 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	1,515,509 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			8,188,472 円	地 方 債	
	増減額			△645,981 円	そ の 他	138,870 円
	増減率		△7.89%	一 般 財 源	7,403,621 円	

### <目的>

スポーツに親しむことのできる場や機会の提供を通じて、市民のスポーツ活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のライフスタイルやニーズに応じて、各種スポーツ教室や行事を充実させ、また、ニュースポーツやウオーキングなどの気軽に楽しめるスポーツの普及を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 スポーツ教室等の開催

スポーツ教室は、16 種目 17 教室を開催し、延べ 971 人の参加があり、壮年ソフトボール大会をはじめとするスポーツ関連行事は、8 回実施し、680 人の参加がありました。

また、体育協会主催事業として第 34 回市民ゴルフ大会を開催し、65 組・259 人の参加があり、クロスカントリーin Sayama2018 は、1,179 人の参加がありました。

#### (1) スポーツ教室

教 室 名	期 間	会 場	参加者数	延べ人数
ゴルフ(初心者)	5月 (8日間)	新狭山ゴルフセンター	10 人	77 人
硬式テニス(初心者)	5月～6月 (6日間)	智光山公園テニスコート	25	133
ノルディックウオーク	5月 (1日間)	市民総合体育館及び周辺	15	15
親子体操	6月 (4日間)	市民総合体育館	28	68
健康・ダイエットピラティス	6月～7月 (5日間)	市民総合体育館	9	30
ラケットテニス体験会	6月 (1日間)	狭山台体育館	11	11
	9月 (1日間)		12	12
ジェイテクト STINGS バレーボール教室	7月 (1日間)	市民総合体育館	103	103
剣道(初心者)	7月 (5日間)	中央中学校	11	48
夏休みスポーツ体験	8月 (2日間)	東京家政大学	13	26
かけっこ(親子)	9月 (1日間)	元気プラザ	60	60
スポーツ吹矢(初心者)	9月～10月 (5日間)	東京家政大学	17	76

弓道（初心者）	10月	（8日間）	市民総合体育館	15	95
体幹を鍛えて健康増進	10月	（2日間）	東京家政大学	16	32
ウォーキング	11月	（1日間）	市民総合体育館	30	30
日体大の先生に学ぼう 中学生陸上教室	1月	（1日間）	狭山台中学校	128	128
ボウリング	3月	（4日間）	新狭山グランドボウル	7	27

(2) スポーツ関連行事

事業	期日	会場等	参加者数
さやま CITY ゴルフ I	4月10日	東京ゴルフ倶楽部	78人 (20組)
さやま CITY ゴルフ II	4月11日	東京ゴルフ倶楽部	80 (20組)
壮年ソフトボール大会	5月13日	上奥富コンプレックスグラウンド	244 (14チーム)
日帰りトレッキング	7月21日	栃木県那須岳	36
体力テスト会	10月9日	市民総合体育館	112
ドッジビー大会	11月11日	市民総合体育館	62 (5チーム)
スポーツ障害予防講習会	2月24日	市民総合体育館	38
健康ウォーキング	3月19日	市民交流センター入間川散策	30

(3) 体育協会主催事業

事業	期日	会場等	参加者数
第34回 市民ゴルフ大会	10月22日	霞ヶ関カントリー倶楽部	259人 (65組)
クロスカントリー in Sayama 2018	12月9日	狭山稲荷山公園	1,179

2 スポーツ推進委員の活動の促進

市主催等のスポーツ・レクリエーション事業への協力を得るとともに、スポーツ推進委員連絡協議会に、普及委員会、広報委員会、研修委員会を設置し、ニュースポーツの普及や地域スポーツの振興に取り組み、スポーツ推進委員の資質の向上を図りました。

スポーツ・レクリエーション事業への協力 14回 延べ 156人  
 会議、委員会等 19回 延べ 229人  
 実技研修等 10回 延べ 134人  
 ニュースポーツ教室等（地域からの要請） 9回 延べ 44人  
 広報紙の発行  
 埼玉県・入間地区による会議・実技研修等 21回 延べ 71人

3 社会体育関係団体の支援

社会体育関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市スポーツ推進委員連絡協議会 90,000円  
 狭山市レクリエーション協会 800,000円

4 市民体育祭の支援

地区体育祭に補助金を交付し、開催を支援しました。

市民体育祭（8地区、9会場） 2,673,000円

# 10款 6項 3目 スポーツ振興費

## 競技スポーツ振興事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 275 ページ

予算現額	5,094,000 円		決算額	4,868,896 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	225,104 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			5,020,898 円	地 方 債	
	増減額			△152,002 円	そ の 他	
	増減率	△3.03%	一 般 財 源	4,868,896 円		

### <目的>

競技団体のスポーツ活動を充実させるため、補助金を交付し、スポーツ団体の育成・支援を図ります。

### <内容>

スポーツ団体の活動を支援することにより、組織の充実を図るとともに、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及を図ります。

### <実績・成果等>

#### 1 関係団体の支援

関係団体に補助金を交付し、活動を支援しました。

狭山市体育協会

3,700,000 円

狭山市スポーツ少年団

684,000 円

#### 2 トップアスリートによる教室等の開催をとおして、競技力向上と競技スポーツの啓発と普及に取り組むことができました。

##### ○主な事業内容

##### ・パラリンピアン講演会

日時：平成 30 年 9 月 16 日（日）14 時～16 時 30 分

場所：市民交流センター（コミュニティホール）

講師：パラアイスホッケー日本代表・平昌パラリンピック出場 堀江 航

参加者数：69 人

##### ・日体大の先生に学ぼう中学生陸上教室

日時：平成 31 年 1 月 26 日（土）9 時～12 時

場所：狭山台中学校

講師：日本体育大学体育学部体育学科教授 別府健至 他 4 人

参加者数：128 人

##### ・埼玉西武ライオンズベースボールクリニック

日時：平成 31 年 2 月 17 日（日）10 時～12 時

場所：山王中学校

講師：埼玉西武ライオンズ OB 星野智樹、宮田和希、長田秀一郎

参加者数：122 人

##### ・SAYAMA City Cup 2019（ちふれ AS エルフエン埼玉プレシーズンマッチ）

日時：平成 31 年 3 月 3 日（日）12 時キックオフ

場所：堀兼・上赤坂公園

対戦相手：ノジマステラ神奈川相模原

来場者数：320 人

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 市民総合体育館管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	61,955,000 円		決算額	61,149,460 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	805,540 円	決算額の 財源内訳		県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			64,072,860 円	地 方 債	
	増減額			△2,923,400 円	そ の 他	
	増減率		△4.56%	一 般 財 源	61,149,460 円	

### <目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のスポーツ活動等の場として、市民総合体育館を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

### <実績・成果等>

エアロビクスやヨガ等の教室を 17 教室開催し、7,598 人の参加があり、また、スポーツ無料体験等の 3 事業を開催し、191 人の参加がありました。

#### 利用状況

開館日数	利 用 者 数			
	利用件数	利用人数	一 日 平 均	
			利用件数	利用人数
335日	75,640 件	259,964 人	225.79 件	776.01 人

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 地域スポーツ施設管理事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	45,531,000 円		決算額	45,524,973 円	
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金	
不 用 額	6,027 円			県 支 出 金	
前 年 度 比 較	決算額	43,925,860 円		地 方 債	
	増減額	1,599,113 円		そ の 他	
	増減率	3.64%	一 般 財 源	45,524,973 円	

### <目的>

スポーツ活動等の場の提供を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

市民のスポーツ活動等の場として、地域スポーツ施設を市民の利用に供し、また、教室等の自主事業を実施します。施設の管理や自主事業については、指定管理者により実施します。

### <実績・成果等>

幼児体操やスケート等の教室を 24 教室開催し、10,136 人の参加がありました。

#### 利用状況

狭山台体育館	開館日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
333 日	4,988 件	55,013 人	14.98 件	165.20 人	

狭山台プール	開館日数	利 用 者 数			
		小学生以下	中・高校生	一 般	計
		42 日	2,792 人	283 人	1,340 人

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 学校体育施設開放等事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	1,366,000 円		決算額	1,241,207 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	124,793 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			1,249,105 円	地 方 債	
	増減額			△7,898 円	そ の 他	
	増減率	△0.63%	一 般 財 源	1,241,207 円		

### <目的>

小・中学校の体育館等の開放を通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進を図ります。

### <内容>

小・中学校の体育館等について、学校教育に支障のない範囲でスポーツ団体に開放します。また、入曾運動広場の管理は委託により実施します。

### <実績・成果等>

利用状況

学 校 名	利 用 日 数	利用登録団体数	延べ利用者数
入間川東小学校	114 日	5 団体	2,614 人
富士見	245	13	8,549
南	243	19	10,148
山王	35	1	375
入間野	219	10	3,558
御狩場	200	11	7,676
堀兼	183	9	2,836
狭山台	246	14	9,604
新狭山	164	9	4,091
奥富	168	9	6,888
柏原	183	8	3,714
広瀬	230	12	5,247
笹井	158	11	4,203
水富	116	3	2,777
中央中学校	201	8	3,491
入間川	127	6	1,797
山王	175	5	1,988
入間野	215	7	4,802
堀兼	189	5	2,681
西	276	17	7,675
柏原	181	5	2,211
狭山台	219	6	3,944
合 計	4,087	193	100,869

※利用登録団体数は、平成31年3月末の団体数。

入曾運動広場	利用日数	利 用 者 数			
		利用件数	利用人数	一 日 平 均	
				利用件数	利用人数
	336 日	1,113 件	36,120 人	3.31 件	107.5 人

# 10款 6項 4目 スポーツ施設費

## 屋内スポーツ施設改修事業

(スポーツ振興課)

決算事項別明細書 277 ページ

予算現額	111,000,000 円		決算額	108,784,728 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	2,215,272 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額	1,296,000 円		地 方 債		
	増減額	107,488,728 円		そ の 他	65,779,000 円	
	増減率	8,293.88%		一 般 財 源	43,005,728 円	

### <目的>

市民の自主的なスポーツ活動等を推進するとともに、スポーツ・レクリエーション活動の振興を図り、市民の健康で文化的な生活を築き上げることを目的とする屋内スポーツ施設の維持管理を行います。

### <内容>

市民総合体育館の床改修等を進めます。

### <実績・成果等>

昭和 57 年に建設された市民総合体育館は、老朽化が進み、床の損傷が激しいため、アリーナ床の全面改修工事を行ったものです。

市民総合体育館アリーナ床改修工事費 102,092,400 円

# 10款 6項 5目 学校給食センター費

## 給食センター管理事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	229,817,000 円		決算額	229,160,789 円		
翌年度繰越額		決算額の 財源内訳	特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	656,211 円			県 支 出 金		
前 年 度 比 較	決算額			228,925,004 円	地 方 債	
	増減額			235,785 円	そ の 他	
	増減率	0.10%	一 般 財 源	229,160,789 円		

### <目的>

児童生徒に安全でおいしい給食を提供します。

### <内容>

安全・安心な学校給食を児童・生徒に提供するため、各センターに調理上必要な各種検査を実施するとともに、安全及び衛生面における管理の徹底を図ります。

また、入間川、柏原及び堀兼学校給食センターを公有財産として割賦により取得し、効率的かつ効果的に運営が図れるよう、PFI 方式で維持管理を継続的に実施します。

### <実績・成果等>

学校給食の施設管理として、各センター施設内外の定期的清掃・消毒はもとより、薬剤師による衛生検査、給食業務に携わる全従業員の定期的な保菌検査を実施しました。

また、入間川、柏原学校給食センターについては、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(146,724,874 円)

堀兼学校給食センターについても、PFI 方式で建設したセンター施設の取得に係る割賦分の支払いを行いました。(75,591,337 円)

# 10款 6項 5目 学校給食センター費

## 学校給食事業

(入間川学校給食センター)

決算事項別明細書 279 ページ

予算現額	519,271,000 円		決算額	513,429,280 円		
翌年度繰越額			特定 財源	国庫支出金		
不 用 額	5,841,720 円	決算額の 財源内訳		県支出金		
前年度 比較	決算額			510,435,793 円	地方債	
	増減額			2,993,487 円	その他	
	増減率	0.59%	一般財源	513,429,280 円		

### <目的>

児童生徒に安全かつ安心な給食を提供します。

### <内容>

学校給食センターで提供する学校給食は、国内産食材はもとより、極力地場産物を採用し、行事食やリクエスト献立を取り入れ、安全・安心で魅力ある学校給食の推進を図ります。

また、栄養士による学校訪問や栄養指導を通して、学校のみならず各家庭における栄養バランスや食品衛生、健康増進に対する理解と認識を深めます。

さらには、入間川、柏原及び堀兼学校給食センターの維持管理を継続的に実施します。

### <実績・成果等>

安全・安心な学校給食を提供するため、下記のとおり実施しました。

#### 1 給食実施状況

- (1) 給食の実施回数 小中学校とも 185 回
- (2) 給食の提供人員 小学校 15 校 7,262 人、中学校 8 校 3,648 人
- (3) アレルギー対応食提供人員 小学校 47 人、中学校 10 人

#### 2 学校訪問等の実施状況

- (1) 学校訪問 小学校 15 校 25 回
- (2) 栄養指導 小学校 11 校 112 時間  
中学校 4 校 36 時間
- (3) 試食見学会 保護者・教員 (学校保健委員会、給食センター試食会) 16 回  
延べ 1,098 人 (41 回)